



一般財団法人 ふくしま市町村支援機構

一般財団法人ふくしま市町村支援機構は、いままでと同様、公益事業を行うとともに、活動の範囲をいままでより広げ、県及び市町村等のニーズに応じて、幅広い支援・補完を行う組織です。

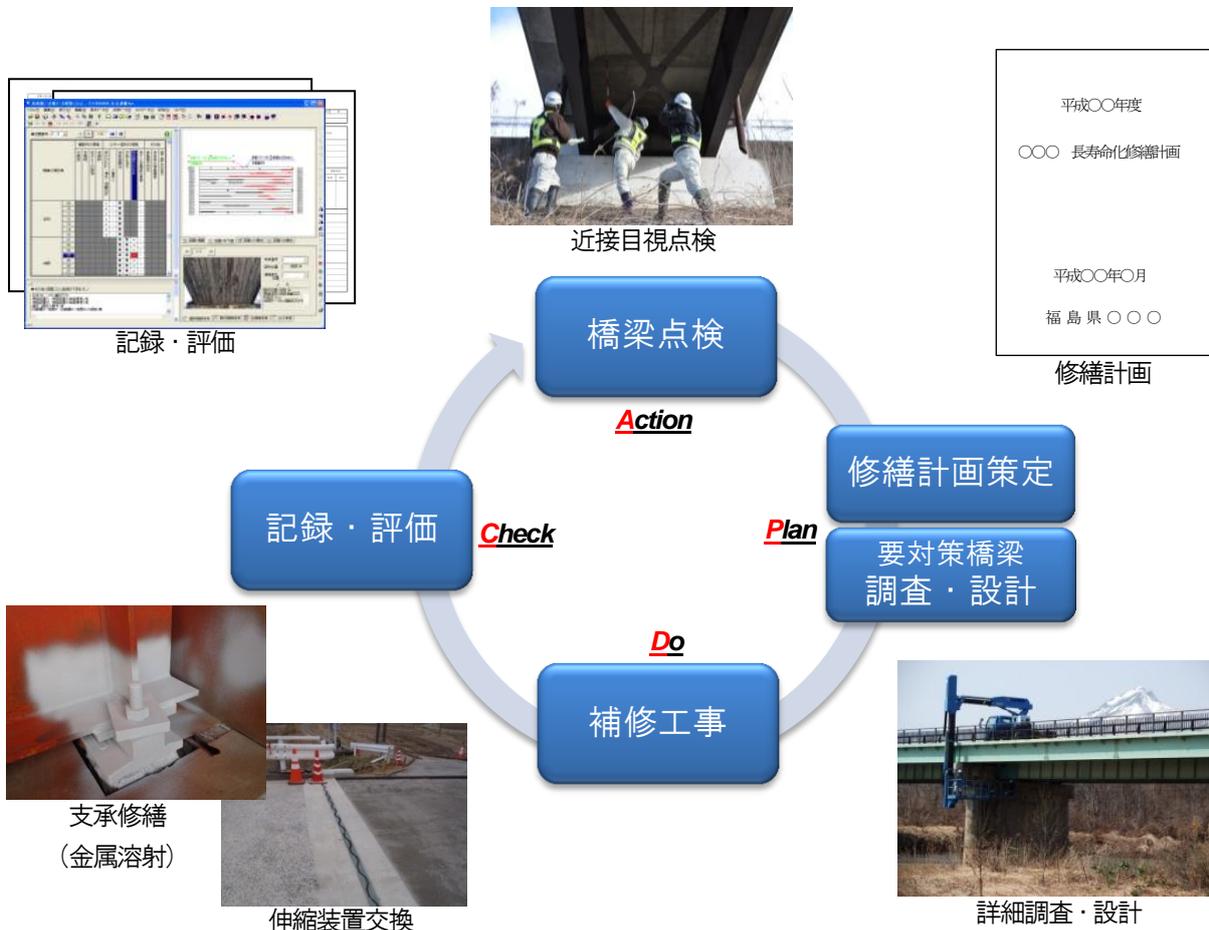
橋梁の点検を定期的に行っていますか

国土交通省は、地域の暮らしを守るインフラの再構築や生活空間の安全確保を集中的に支援するために「防災・安全交付金」を設け、そのなかで自治体管理の老朽化したインフラの総点検、それを踏まえた緊急対策、長寿命化など計画的・戦略的な維持管理・更新を促すための総合的な老朽化対策を進めています。

福島県においても、橋梁の損傷状況と健全度を総合的に再検討し、損傷状況の早期発見と予防保全型維持管理の推進を目的に、従来、一般的な橋梁については 10 年に一回としていた橋梁点検の頻度を 5 年に一回実施するよう改訂を行っています。

橋梁の健全度は、当初の点検データが残っていても、点検箇所がいつまでも同じ損傷状態ではありません。むしろ、自然環境によっては伸縮継手のある桁端部、支承付近など部分的に著しく劣化が進む傾向があります。長寿命化修繕計画は、策定することが最終目的ではなく、策定した計画を定期的に見直しなが管理を行う P D C A サイクルを継続するためのものです。そのためには、健全度や重要度に合わせた橋梁点検を実施し損傷部位の劣化状況、損傷部位の補修状況、補修が未了であれば、その結果を反映した劣化予測により再評価し、L C C の算定から長寿命化修繕計画の見直しを行う必要があります。

※LCC 算定とは…イニシャルコストのみならず、ランニングコストを含めた総合的な費用を把握すること。



「道路情報支援システム」を開発しました

※道路情報支援システム (Road Information Support System=略称 RISS) は、ふくしま市町村支援機構が開発した画像記録システムです。

車両外部にWebカメラ、線量計(CSI)及びGPS装置を装着し、道路の損傷状況を撮影、道路上の放射線空間線量や位置情報を把握しデータ化するものです。取得されたデータは車に搭載されたパソコンと携帯回線により、システムサーバへ転送・記録されます。また、システムの操作はネットワーク回線を利用し、事務所等から遠隔操作が可能で会議等でのリアルタイムな情報提供ができます。

システム開発の経緯

福島第一原発事故により、警戒区域に指定されていた市町から災害査定の第一報調査を依頼され、高線量の警戒区域内での作業について、被災地調査を迅速かつ効率よく実施し、職員が放射線を受けることをできるだけ少なくすることを目的に開発しました。

システムの性能

- ① 遠隔操作により、被災箇所のズームアップ等詳細な情報を車内（遮蔽物内）で確認できる。
- ② 130万画素、静止画カメラを連続撮影（4コマ/秒）により、動画の再生が可能。
- ③ 解像度を高め、静止画像写真として必要な部分を写真としてプリントアウトすることができる。
- ④ GPS機能を活用し、位置情報及び撮影時間を記録することで、走行位置情報と地図情報を結合することができる。
- ⑤ 放射線量を測定し、位置情報と地図情報を結合することで、道路上の空間線量網図の作成ができる。

システム仕様



※このシステムは、平成24年9月27日（木）に滋賀県草津市で開催された全国建設技術センター等協議会主催「平成24年度技術研究発表会」において、技術委員長賞（第1位）を受賞しました。

システム活用の方法

- ① 災害査定の第一報調査
 - ・被災状況+被災延長により被害報告額、被害概要、被害延長、復旧工法等の判断資料
- ② 通常の道路管理
 - ・定期的な撮影により道路破損状況及び破損箇所を特定でき、維持管理履歴の資料
- ③ 道路上の放射線空間線量率網図
 - ・定期的な測定により放射線量の低減割合やホットスポット等の箇所及び状況判断資料



お問い合わせは 土木2課 ☎ 024-522-5122 まで

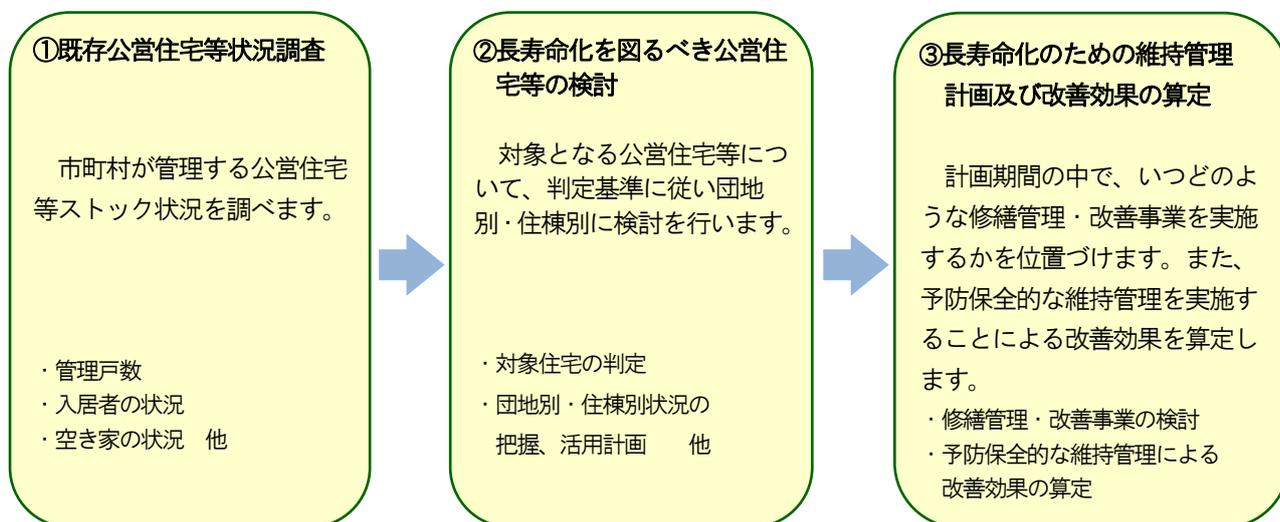
「公営住宅等長寿命化計画」の策定を支援します

公営住宅等長寿命化計画は、既存公営住宅の予防保全的な管理・修繕により、更新コストの縮減を目指すための計画です。

公営住宅等長寿命化計画を策定しなければ、平成26年度以降は、公営住宅改善事業や公営住宅建替事業の交付金助成を受けられなくなります。なお、「公営住宅等長寿命化計画」策定費用に対する交付金助成については、平成25年度をもって終了する予定です。

支援機構では、既存の公営住宅ストック総合活用計画の実績も多く、公営住宅長寿命化計画策定においても皆様を支援してまいります。

計画策定の流れ



お問い合わせは 建築課 ☎ 024-522-5124 まで

平成25年度第一期除染業務講習会（業務監理者コース）の実施について

1 講習会の目的

県内において、市町村等が発注する除染業務の進捗状況を監理する方を対象者にして、業務監理者として除染作業現場を適切かつ安全に監理するための専門的な知識と技能の習得を目的とする。

2 募集定員

各200名（福島及び郡山会場） 各100名（白河及びいわき会場）

3 日程及び場所

(1) 講義

平成25年5月17日（金） ホテル福島グリーンパレス（福島市太田町13-53）
平成25年5月22日（水） ホテルサンルート白河（西白河郡西郷村字道南東7）
平成25年5月27日（月） ビッグパレットふくしま（郡山市南二丁目52番地）
平成25年5月31日（金） いわきワシントンホテル椿山荘（いわき市平字一丁目1）

(2) 実習

平成25年6月11日（火）、12日（水）、13日（木）、26日（水）、27日（木）
（公財）ふくしま自治研修センター（福島市荒井字地蔵原乙15-1）

お問い合わせは 試験審査所 ☎ 024-927-5190 まで

平成25年度 市町村建設事業担当職員研修計画

平成25年度は以下の10コースの研修を開催します。

具体的な研修の受講手続等については、それぞれの研修の開始1か月前にお知らせいたします。
多数の参加をお待ちしております。

研修区分	研修名	開催月	日数	備考
基礎	土木技術の基礎講座	6月	3日	
初級	設計積算システムによる積算演習〈土木コース〉	8月・10月	3日	2回開催
	設計積算システムによる積算演習〈建築コース〉	12月	3日	
	J w - C A D 演習（初級）	8月・10月	2日	2回開催
	A u t o - C A D 演習（初級）	12月	2日	
	道路事業の計画設計（I）	9月	2日	
中級	水道施設の設計と施工管理	11月	2日	
	道路事業の施工管理と業務委託	11月	2日	
	用地中級	1月	2日	
	許認可業務	9月	2日	

お問い合わせは 総務課 ☎ 024-522-5123 まで

編集後記

今回は支援機構の取組みについて、紹介いたしました。お気付きの点やご不明な点等がございましたら、お気軽にお尋ねください。また、皆様からのご意見・ご相談を随時受付しております。平成25年度もどうぞ宜しくお願い致します。

相談専用 TEL 024-597-7044

【編集・発行】 〒960-8043 福島県福島市中町7-17 一般財団法人ふくしま市町村支援機構

TEL : 024-522-5123 FAX : 024-522-3631 E-Mail : info2@fctc.or.jp URL : <http://www.fm-so.org/>



ふくしまから
はじめよう。